

## エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2008/02/22）

#.21

Name:	ルースちゃん	Age:	6歳	■投与開始時の BUN/CRE	160 / 13.2
■薬剤名	エスポー		■投与時猫体重	3.1kg	

<b>■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化</b> 2008.1.8～2008.2.14（週 2 回） 16.3%→ 19% ※その後も継続中 ソルデム 3A 500ml に混注 1 回 100ml(自宅皮下点滴)
<b>■抗体について：</b> わからない
<b>■他の貧血対策：</b> 2/3～ペットチニック 日 2 回/ 2 ml( 1 回 1 ml)2/19～セファランチン 日 2 回/ 2 mg( 1 回 1 mg)

### ■飼い主さんの感想

エスポーを使っているのは解るのですが、500ml 点滴液 100ml にどの程度入っているかはわかりません。現在も 3~4 日ごとに使用中です。途中からペットチニックを使用しており、その後 10 日程で、急激に HCT 上昇が認められました。その為エリスロポエチンの効果なのかはわかりません。上昇したのは確かなので 1 ヶ月としていた投与期間を延長しています。

### 《じいや補足》

BUN160、Cre13.2 という数値だったルースちゃんですが、2008 年 2 月 14 日の検査では BUN76／Cre5.4 にまで落ち着き、とても安定しているそうです。

HCT は同じ日の結果で 19%を示したとのこと。また今後も継続して使用していくそうです。

エポを使ってもなかなか上昇を見せない場合、「このコはエポが効かない」とか「抗体ができたのかも」といって使用を中断してしまう獣医さんもいるようです。

それから、『ワンクール』といういい方自体が日本独特のいい方です。「これがワンクールなので…」とか「4 回の投与がワンセットです」といういい方をする獣医さんの話を聞いたことがあります。回数うんぬんではありません。

低い数値から始めれば、それだけ上昇に時間がかかることもあります。すでに正常な HCT を示しているのに投与を続ければ、今度は HCT が上がりすぎてしまいます。

通院のストレスも考慮しなければなりません。epo を投与している最中は、モニタリングは大切です。

ルースちゃんがそうであるように、腎性貧血に対して epo を使う場合は、期間を決めることが重要なのではなく、目標とする数値に達するかどうか、ということが大切だと感じます。

目標に達したら、または目標が見えてきたら、適切に回数や量を調整していけばいいと思います。